

## 2019年度 第14回 スポーツ・健康科学研究科委員会議事録要旨

日時 : 2020年 3月17日 (火) 13時34分~15時00分

場所 : 東松山校舎9号館会議室

構成員 : 17名 (定足数9名)

出席数 : 14名 (定足数充足)

欠席者 : 3名

### 《報告事項》

1. 研究科委員長会議および大学院評議会 (2020年3月9日開催) からの報告について

①2020年度大学院春季入試及びスポーツ・健康科学研究科3月入試実施に係る報告について

②2020年度大学院研究生等入試実施に係る報告について

③2020年度大学院評議会委員について

④全学教務委員会からの報告 (①学習成果の可視化検討部会/②学修時間部会 (社会人の受入れ環境整備)) について

⑤2019年度大東文化大学学位記授与式挙行中止について

⑥2020年度各種委員会委員について

⑦大東文化大学大学院学則並びに大東文化大学学位規則の改正 (案) 及び学位規則改正に伴う学位申請書、論文目録の様式内容の変更 (案) について

議長より、資料に基づき、2020年3月9日開催の研究科委員長会議および大学院評議会において付議された内容について報告があった。

併せて、⑤に関連して、入学式の開催が中止となったこと及び授業開始日が5月7日に変更となった旨の周知がなされた。

2. 教授会の議決をもって研究科委員会の議決とする案件について

①大東文化大学青山杉村雨賞褒賞金規程の廃止 (案) について

②大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理規定の制定 (案) について

③大東文化大学ヒトを対象とする医学系研究に関する倫理規定の改正 (案) について

④大東文化大学遺伝子組替生物実験規程の制定 (案) について

⑤大東文化大学研究倫理委員会規程の改正 (案) について

議長より、②③④⑤に関連して、今後委員の選出について調整がなされることになるため協力願いたい旨要請があった。

3. スポーツ・健康科学研究法における授業アンケートの集計結果について

議長の指名により、勝又宏専攻主任から資料に基づき、オムニバス授業「スポーツ・健康科学研究法」の授業内において実施したアンケートの集計結果について報告がなされた。また、次年度のアンケート内容について意見等があれば個別に連絡をしてほしい旨要請がなされた。

4. その他

特になし。

## 《報告承認事項》

1. その他  
特になし。

## 《議案》

### 1. 2020年度対面式・ガイダンスについて

議長より、資料に基づき、感染症拡大防止の観点から2020年度対面式・ガイダンスについては、予定していた懇親会を中止し、教務ガイダンスを中心として午前中（1時間程度）に終了するように調整し開催することが提案され、これを承認した。

なお、集合写真撮影は5月23日開催の修士論文構想発表会の際に延期することが確認された。  
また、当日の院生室の配置担当の学生を決定した。

### 2. 2020年度研究科委員会開催スケジュールについて

議長より、資料に基づき、2020年度研究科委員会開催スケジュールについて提案があり、全会一致でこれを承認した。

### 3. 2020年度修士論文に係るスケジュールについて

議長より、資料に基づき、2020年度修士論文に係るスケジュールについて提案があり、以下の点について変更の提案がなされ、これが承認された。また、その他のスケジュールも例年通りであることが確認され、全会一致でこれを承認した。

#### 変更点① 修士論文審査料の徴収時期

変更前：大学院1年生の修士論文計画書提出時

変更後：大学院2年生の修士論文提出時

なお、修士論文構想発表会について、授業開始日が5月7日に繰り下がったことによるスケジュール変更は行わず、予定通り開催することが確認された。

### 4. その他

①議長より、オムニバス授業「スポーツ・健康科学研究法」のスケジュールについて、授業開始日が5月7日に延期されたことに伴い、日程の調整を行うことが提案された。

各回について教員間の調整がなされたのち、とりまとめた資料について研究科委員長よりメーリングリストにて再提案し、承認がなされたスケジュールをガイダンス時に新入生に向けて周知する旨が確認された。

②議長より、定年退職をする教員の後任人事の選考方法について、まずはスポーツ科学分野の教員で協議を行ったのち、専攻主任に意見等を集約し方針等を提案してほしい旨の要請がなされ、これが了承された。

③議長より、看護学科が完成年度を迎えるにあたり、看護学科生の大学院進学・受け入れにかかる

対策として、本研究科における看護学領域をどのように位置づけ、看護学科教員を配置するか、収容定員変更を含め看護学分野を正式に立ち上げ、体制を整えなければならないが、現在看護学科における進捗について確認をしたいとの発言がなされた。

以上